平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月19日

上場会社名　株式会社 JIEC　　上場取引所　東
コード番号　4291　　URL　http://www.jiec.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山本　裕文
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　（氏名）佐藤　隆　TEL 03-5326-3331
四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,332	15.5	224	23.8	228	23.3	145	31.4
25年3月期第1四半期	2,885	0.1	181	1.9	185	1.9	110	△14.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2,114.31	―
25年3月期第1四半期	1,609.63	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	11,266	9,443	83.8	137,684.12
25年3月期	11,424	9,418	82.4	137,317.84

（参考）自己資本　26年3月期第1四半期　9,443百万円　25年3月期　9,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,250.00	―	1,750.00	3,000.00
26年3月期	―				
26年3月期（予想）		1,500.00	―	15.00	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度の採用を決議しております。平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は、3,000円00銭(第2四半期末：1,500円00銭　期末：1,500円00銭)となります。

3. 平成26年 3月期の業績予想（平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	△0.4	500	7.9	500	6.5	300	7.2	43.74
通期	13,700	1.3	1,100	7.7	1,100	6.3	660	5.9	96.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度の採用を決議しておりますが、当会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益を算定しております。
なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)が4,373円75銭、通期が9,622円25銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	68,591 株	25年3月期	68,591 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	― 株	25年3月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	68,591 株	25年3月期1Q	68,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1．業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料Ｐ．３「1．当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2．株式分割について

当社は、平成25年５月23日開催の取締役会及び平成25年６月20日開催の第29回定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月１日を効力発生日として普通株式１株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。これに伴う平成26年３月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(１)経営成績に関する説明 …… 2
(２)財政状態に関する説明 …… 2
(３)業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
(１)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(２)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
(１)四半期貸借対照表 …… 4
(２)四半期損益計算書 …… 5
(３)四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
(４)四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記)…… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)…… 7
(セグメント情報等)…… 7
５．補足情報 …… 8
(生産、受注及び販売の状況)…… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(１)経営成績に関する説明

当第１四半期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高傾向を受けて、景気には改善の動きがみられ、企業業績や消費動向も徐々に持ち直し始めております。しかしながら、為替や株価の大きな変動や、海外では中国経済の成長が鈍化傾向にあり、欧州経済も依然として回復の兆候がみえないなど、国内景気の回復へ向けた不安要因には注意する必要があります。

当業界においては、引き続き開発需要が好調な金融分野を中心に、他の分野においても予算抑制で先送りされていたシステム投資案件の再開に加え、企業統合や、経営効率の向上、セキュリティの強化等をテーマとした需要が増加しております。

このような環境のもと、当社は、顧客企業の投資ニーズを的確に捉え、ダイナミックかつ迅速に要員の適正化を図り、案件立ち上げをスムーズに行える体制の構築を進めることで受注の最大化に取り組んでまいりました。業績については、金融分野において企業統合案件が引き続き高水準で推移していることや、金融以外の分野においても比較的大型の案件の引き合いもみられるなど、堅調に推移しております。また、好調な受注状況を背景に、要員の稼働率も高止まりの状態が続いております。

これらの結果、当第１四半期累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、3,332百万円(前年同期比＋15.5%)、営業利益は、224百万円(前年同期比＋23.8%)、経常利益は、228百万円(前年同期比＋23.3%)、四半期純利益は、145百万円(前年同期比＋31.4%)となりました。

(２)財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ158百万円減少し、11,266百万円(前事業年度末比△1.4%)となりました。

流動資産の減少273百万円のうち、主な増減項目は、現金及び預金の減少147百万円、前事業年度末検収案件の回収等に伴う売掛金の減少448百万円、有価証券の減少98百万円、仕掛品の増加93百万円であります。

固定資産の増加114百万円のうち、主な増減項目は、投資有価証券の増加であります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ183百万円減少し、1,822百万円(前事業年度末比△9.1%)となりました。主な増減項目は、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少であります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ25百万円増加し、9,443百万円(前事業年度末比＋0.3%)となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、△84百万円(前年同期比＋39百万円)となりました。主な増減項目は、営業収入の増加282百万円、外注費の支払及び購入による支出の増加215百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、＋6百万円(前年同期比＋6百万円)となりました。主な増減項目は、有価証券の取得による支出の減少299百万円、有価証券の償還による収入の減少300百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△111百万円(前年同期比△32百万円)となりました。これは主に、増配に伴う配当金の支払額の増加によるものであります。

これらの結果、当第１四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末から188百万円減少し、6,836百万円となりました。

(３)業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済の先行きは、景気回復の本格化に期待はあるものの、海外経済の減速や、不安定な為替や株式市場の動向、原材料高やエネルギーコストの上昇など、様々な要因に左右されるリスクを抱えており、企業にとっては先行き不透明な状況の継続も予想されます。

当社の顧客企業においても、経済動向によってはシステム投資予算が抑制される可能性があることから、平成25年４月23日発表の通期業績予想は据え置くものとします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

(１)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(２)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
(１)四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,972,234	3,824,467
関係会社預け金	2,652,162	2,611,385
売掛金	2,351,934	1,903,104
有価証券	1,298,836	1,200,168
仕掛品	96,031	189,502
その他	454,346	823,913
流動資産合計	10,825,546	10,552,542
固定資産		
有形固定資産	48,617	70,132
無形固定資産	76,555	69,858
投資その他の資産	473,877	573,993
固定資産合計	599,050	713,984
資産合計	11,424,596	11,266,526
負債の部		
流動負債		
買掛金	488,180	476,966
未払法人税等	241,216	8,121
賞与引当金	548,911	277,364
役員賞与引当金	－	1,833
工事損失引当金	2,233	7,450
その他	387,152	712,629
流動負債合計	1,667,693	1,484,366
固定負債		
退職給付引当金	325,131	325,264
役員退職慰労引当金	13,004	13,004
固定負債合計	338,135	338,268
負債合計	2,005,829	1,822,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,184	674,184
資本剰余金	640,884	640,884
利益剰余金	8,118,070	8,143,058
株主資本合計	9,433,139	9,458,127
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,371	△14,236
評価・換算差額等合計	△14,371	△14,236
純資産合計	9,418,767	9,443,891
負債純資産合計	11,424,596	11,266,526

(２)四半期損益計算書
第１四半期累計期間

(単位：千円)

	前第１四半期累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)	当第１四半期累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)
売上高	2,885,171	3,332,986
売上原価	2,290,284	2,673,625
売上総利益	594,886	659,361
販売費及び一般管理費	413,383	434,614
営業利益	181,503	224,746
営業外収益		
受取利息	4,006	3,849
その他	816	860
営業外収益合計	4,822	4,710
営業外費用		
支払手数料	1,192	1,175
営業外費用合計	1,192	1,175
経常利益	185,132	228,281
特別利益		
受取和解金	－	6,000
特別利益合計	－	6,000
特別損失		
固定資産除却損	17	－
特別損失合計	17	－
税引前四半期純利益	185,115	234,281
法人税、住民税及び事業税	1,382	10,578
法人税等調整額	73,326	78,680
法人税等合計	74,709	89,259
四半期純利益	110,406	145,022

(３)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第１四半期累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)	当第１四半期累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	3,230,331	3,512,959
外注費の支払及び購入による支出	△1,195,464	△1,410,962
人件費の支出	△1,662,571	△1,670,569
その他の営業支出	△319,020	△286,978
小計	53,275	144,449
利息及び配当金の受取額	4,880	4,901
法人税等の支払額	△182,037	△233,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,882	△84,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,199,686	△899,867
有価証券の償還による収入	1,200,000	900,000
有形固定資産の取得による支出	－	△2,570
無形固定資産の取得による支出	△761	－
敷金及び保証金の差入による支出	△302	△184
敷金及び保証金の回収による収入	1,217	9,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	466	6,731
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△78,856	△111,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,856	△111,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△202,271	△188,528
現金及び現金同等物の期首残高	6,148,988	7,024,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,946,716	6,836,100

(４)四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、システム開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

５．補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 生産実績

当第１四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	3,353,710	6.7

(注) 1　金額には、消費税等は含まれておりません。
　　 2　生産実績は、販売価格に基づいて算出しております。

② 受注実績

当第１四半期累計期間における受注実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前期比増減率(%)	受注残高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	3,338,363	△8.8	2,034,444	△23.8
製品販売	113,205	100.9	203,882	44.1
合計	3,451,569	△7.2	2,238,327	△20.4

(注)　金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第１四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、以下のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前期比増減率(%)
システム開発	3,260,239	16.9
製品販売	72,746	△23.5
合計	3,332,986	15.5

(注)　金額には、消費税等は含まれておりません。